

問題 I

- 問 1 (1) 都市 A は西岸海洋性気候に属しており、大西洋を流れる暖流の北大西洋海流の上を吹いている偏西風が暖気を運んでくるため、高緯度のわりに冬の気温が下がりにくく、夏は高温にならず、気温の年較差は小さい。都市 B は亜寒帯冬季少雨気候に属しており、都市 A と比べ隔海度が大きい。陸地は海洋に比べて比熱が小さいため温まりやすく冷めやすい特徴があり、内陸部ほど冬の寒さが厳しく、夏は気温が上がるため、気温の年較差は大きい。(200 字)
- (2) 山岳・高原地帯であるため、標高の上昇により気温が逡減し最暖月平均気温が  $0^{\circ}\text{C}$  以上  $10^{\circ}\text{C}$  未満となるから。
- (3) 温室効果ガスの排出により地球温暖化が進行することで、平均気温が世界的に上昇するとともに、降水量も変動すると想定される。
- 問 2 (1) 生育期間中に高温多湿となる気候の地域で、低平で多量の水が得られるため水田を造成しやすい沖積平野が栽培に適する。
- (2) 降水量が少ない、または台地などの地形的な制約で水利が悪い地域では、灌漑設備を整えることで栽培が可能になる。山間部では、山の斜面に階段状の棚田をつくることで栽培が可能になる。
- 問 3 (1) 河川の流路よりも数 m 高い場所にあり、水害の危険性が少ない。また山のふもとにあるので、地下水が湧き出し、水を得やすい。
- (2) E は日当たりのよい南向きの斜面にあたることから日南、F は日当たりの悪い北向き斜面にあたることから陰地と命名された。
- (3) 丘陵地の大部分は針葉樹林や広葉樹林になっているが、川沿いの低平な土地や、ため池付近の傾斜が緩やかな山の斜面に水田がみられる。

問題Ⅱ

問1 Aーカナダ Bーナミビア Cーマレーシア

問2 (1) 協定の名称ーUSMCA (アメリカ・メキシコ・カナダ協定)

要件の名称ー原産地規則

(2) アメリカ合衆国よりも生活費が安い傾向にあり，アメリカ合衆国の ICT 産業の中心地であるシリコンバレーとタイムゾーンが同じであるため時差がなく，企業間の連携が取りやすい。

(3) Eの州はイギリス人の入植地であったことから英語の使用人口が多い。Fの州はフランス人の入植地であったことからフランス語の使用人口が多い。

問3 (1) アーウラン イーダイヤモンド ウー風化 エーオレンジ

(2) 鉱山資源の開発は，外国資本の企業に依存することが多く，住民の雇用や所得の向上に結びつかず，資源をめぐる紛争の原因になることもあるから。

(3) 沖合を流れる寒流のベンゲラ海流の影響で大気の下層が冷やされることで安定し，上昇気流が発生しにくくなるため降水量が少なくなり，海岸砂漠が形成された。

他国の砂漠ーアタカマ砂漠

問4 (1) ルックイースト政策

(2) カー成長の三角地帯 (トライアングル) キージョホール

ターバタム (ビンタン) ケー労働力 (エネルギー) コー労働集約

(3) 2000～2010年においては，えびの養殖池の造成や稲作のための水田開発がマングローブ林の減少の主な要因であったが，2010～2020年においては，油やしの農場開発，宅地開発，その他の開発行為などが要因となっている。

問題Ⅲ

問1 (1) A－エ B－ア C－ウ

- (2) 安全な水の確保や衛生環境の改善により感染症などにかかりにくくすることで、乳幼児死亡率の低下につながる。  
食料援助などによって栄養状態を改善することで、栄養不良を原因として死亡する乳幼児を減らすことができる。

問2 (1) X－風力発電 Y－太陽光発電

- (2) X－海からの季節風などで安定した風量が見込める地域に多く立地し、内陸部には少ない。

Y－日照時間の長い太平洋側や晴れの日が多い瀬戸内地方に多く立地し、冬の日照時間が短い日本海側は少ない。

Z－活動のさかんな火山がみられる東北地方や九州地方に多く立地している。

- (3) 発電・蓄電設備を家庭に設置して送電網で結び、ICTを活用して電力の需要と供給をコントロールするスマートグリッドの普及が進められている。

国境を越える送電網を整備し、各国で電力を融通し合っている。

問3 国際海運では、船籍，船の所有者，船員，出発地，目的地など，一回の輸送に関する国が複数存在するため，国ごとに具体的な削減目標を設定することが困難であったから。